

社会科 学習指導案

授業日時 令和3年6月22日(火) 第6校時
 授業学級 1年D組 男子19名 女子20名 計39名
 授業会場 1年D組教室
 授業者 _____
 指導教員 _____

1 単元名(題材名)

世界各地の人々の生活と環境

2 主眼

5つの気候帯の特徴や人々の生活との関係について学習してきた子どもたちが、世界の主な宗教について学ぶ場面で、宗教の特色を調べ、比較することを通して、宗教が異なることで、人々の生活には違いがみられることを自分の言葉で説明することができる。

3 本時の位置(全9時間扱い中 第8時)

＜前時＞ 標高の高い地域と低い地域に暮らす人々の生活

＜次時＞ 宗教と人々の食文化の結びつき

4 指導上の留意点

- 教材資料をテレビ画面に映し、子どもたちに視覚的にわかりやすく内容を伝えられるようにする。
- 宗教の特色を調べる場面では、ジグソー法を用いて、グループ全員で協力して活動に取り組めるようにする。
- 調べた結果を黒板にまとめる際、生徒が比較しやすいように「各宗教×各視点」の表にして示すようにする。

5 展開

過程	学習活動【学習形態】	予想される生徒の反応や意識(◎)	教師の支援(・)と 評価	時間
導入	1. 宗教の分布図の読み取り、気づいたことを発表する。【全体学習】	(ア) 「人口の数」 (イ) 「何かのお金」 (ウ) 「宗教の人口」 (エ) 「宗教が信仰されている場所」 (オ) 「気候区分」 (カ) 「キリスト教が多い」 (キ) 「ヒンドゥー教はインドとその隣だけ」 (ク) 「アフリカの上の方と西アジアはイスラム教が多い」 (ケ) 「日本は仏教になっている」	・教師は初めに宗教人口を示す数字のみを示し、次に項目を隠した分布図をテレビ画面に映して提示し、何を表す数字、分布図なのかを問いかけることで、生徒は学習内容に対して興味をもち、視覚的に情報を捉えることができる。 ・教師は分布図の利便性を感じるような助言をすることで、生徒は一般的な分布図の利用の仕方に気づくことができる。(知識・技能) Ex. 「一目で分布が分かりますね。」	8
	2. 学習問題の予想を記入し、発表する。【個人学習→全体学習】	(コ) 「違うと思う」 (サ) 「宗教も地域ごとに違うから、やっぱり違うと思う」	・教師は自然的条件と人々の生活との関係を思い出すように促し、さらに宗教の違いに触れることで、生徒は宗教と人々の生活との関係について興味を持つことができる。 (主体的に学習に取り組む態度) Ex. 「地域ごとに気候などの自然的条件が異なることを学習しましたね。そして、その違いによって人々の生活にも違いがあることを前回まで学習してきましたね。分布図で見たように、信仰される宗教も場所によって違っていましたね。では宗教が違ってもそこで暮らす人々の生活ってどうなのでしょうか。違うのでしょうか？」 ・教師は生徒の発言を受けて、学習問題を提示する。	6
	【学習問題】宗教によって人々の生活にはどのような違いがあるのだろうか？		・教師は学習問題を提示した後、生徒がワークシートに予想を記入するように促す。	

展 開		(シ) 主食に違いがあるのではないかな。 (ス) 食文化に違いがある (セ) 衣服に違いがある。 (ソ) 建物の作りが違う気がする。 (タ) 行事も違うと思う。	・教師は数名の生徒を指名し予想を聞き出すことで、生徒は他生徒がどのようなことを予想したのかを知り、自身とは異なる見方（観点）に出会うことができる。	26	
	【学習課題】 キリスト教、イスラム教、仏教、ヒンドゥー教の特色を調べ、人々の生活を比較してみよう。				
	3. 4つの宗教についてグループで調べ、学級全体で共有し、比較する。 【グループ学習】	(チ) 「キリスト教の経典は聖書で、神と他の人への愛を大切にしている、日曜日には教会で食事の前にお祈りをするらしい」 (ツ) 「イスラム教の経典はコーランで、1日5回メッカに向かって祈って、金曜日は休みなんだって、いいな。でもモスクに集まって祈るらしい。あと、お酒と豚肉が禁止されているらしい」 (テ) 「ヒンドゥー教はインドの80%以上の人が進行していて、牛は神の使いと考えられているから、牛肉食べられないんだって。他の肉や魚を食べない人も多いみたい」 (ト) 「仏教の経典は経で、大乘仏教と上座部仏教がある。僧侶に寄付するみたい」 (ナ) 「ヒンドゥー教には経典はないのかな」 (ニ) 「宗教が違くと人々の生活もやっぱり違うみたいだね。」	・教師は学習課題を提示した後、グループで分担を決め調べ学習を行うように指示することで、生徒は対話的な学習活動ができる。 〈主体的に学習に取り組む態度〉 ・教師は机間指導を行い、生徒個人やグループの進捗状況に応じて必要なヒントを与えることで、生徒は進んで調べ学習に取り組むことができる。 〈主体的に学習に取り組む態度〉 ・教師は生徒の言葉を簡潔にまとめながら呼応し、重要な点を板書することで、生徒は宗教の特徴を容易に理解することができる。 ・教師は板書した表を用いながら、宗教と人々の生活の関係について比較するように促すことで、生徒は宗教が異なることで人々の生活にも違いがみられることを理解できる。〈思考力・判断力・表現力〉 「この表（板書）を見て、何か気づいたことはありますか？」		
終 末	4. 本時を振り返り、宗教と人々の生活の関係について自分の言葉で整理し、記入する。 【個人学習】	(ヌ) ヒンドゥー教では牛は神の使いとされているから人々は牛肉を食べないが、イスラム教では豚肉を食べることが禁止されている。 (ネ) キリスト教は食事の前や日曜日に教会でお祈りをするが、イスラム教は1日5回、聖地メッカに向かって祈る。	・教師は各宗教と人々の生活を比較して分かったことを記入するワークシートを作成することで、生徒は自身の言葉で表現することができる。 〈思考力・判断力・表現力〉 【評価】 宗教が異なることで、人々の生活には違いがみられることを理解し、自分の言葉で説明できるようになる。 (ワークシート)	5	

6 板書計画

学習問題 []

学習課題 []

人口パネル①

〈予想〉

→キリスト教

人口パネル②

→イスラム教

人口パネル③

→ヒンドゥー教

人口パネル④

→仏教

キリスト教	イスラム教	仏教	ヒンドゥー教

〈準備するもの〉

- ・分布図（テレビ画面）
- ・学習問題パネル
- ・学習課題パネル
- ・宗教人口パネル
- ・学習ワークシート